

【「命の水」】

沖縄県 うるま市立与勝第二中学校

二年

まえだ なつな
前田 夏奈

みなさんは、身近にあたり前にある「水」について考えたことはありませんか。また、水がなければ、私たちの身の回りやこの地球がどのようなことになるか想像したことはありませんか。

水のことを考えると、私は、小学四年生で行った浄水場での社会見学を思い出します。

見学では、雨水などの中にある大きなゴミをできるだけ手で取って、ろ過したものが、私たちの所に利用する水として来ているということを知りました。そして、雨水をためるタンクに、まだキレイにしない水のため機械や人の手でキレイにしていく過程を見て驚いたのを覚えています。また、台風が来ると、まだキレイにしない水が雨水のタンクにさらにたまり、処理が難しく、追いつかない時があるということも知りました。

私は、雨水がいつばいまると、使える水が増えることになり、それが台風であっても良いことだと思っていました。しかし、浄水場でためた雨水から、ゴミを手で取り、大変そうに仕事をしているのを見ました。台風が来ると、いつも行っている量の倍の仕事量になると思うと、水が増えるかもと簡単には喜べないなと思いました。

逆に私は、雨が降らなかつたら、人間の生活や地球はどうなってしまうのかを考えてみました。

雨が降らなかつたら、まず初めに、植物や人間が生きられなくなると思います。植物は栄養と同じぐらい水が必要なので、水がなくなるとすぐに枯れてしまいます。人間も植物と同じように水が必要な生き物です。人間の体は、約六〇%が水でできているそうです。

水がなくなると、人間も植物と同じように体内の水がなくなっていく、死にいたるだろうと思います。次に、草食動物が生きられなくなると思います。それは、水がなくなると初めに植物が減っていく、それを食べる草食動物が減っていくからです。すると、水がないだけでなく、食べ物までも減っていくことになります。最後

には、草食動物を食べる肉食動物が、水がないことにより食べ物なくなり減っていきます。

そう考えると、水が、人間や生き物にとって大切な物だと改めて考えさせられました。

私たちは、身の回りで水をいつばいどのように使っているのでしょうか。

私たちは、日ごろ、お風呂やトイレに入ると必ず水を使います。また、洗たくするときや食事を作るときなどにもたくさん水を使っています。このように、私たちの身の回りでは、色々な所で水が使用されています。そんな中で、水がなくなり人間が一番困るのは、飲み水だと思いました。人間は、水がなくなると本当に生きていけないと改めて思いました。

今回、水について考えることで、浄水場での社会見学の時学んだ水の大切さや自分の身の回りにどのような影響が起るのかを考えるきっかけになりました。

お風呂に入る時や手を洗う時などは、水を止め、出しっぱなしにしないなど、私たちが身の回りでできる水の使い方意識しなければならぬと思います。また、水の大切さや水がどれだけ貴重か、私たちのもとに水が届くまでを伝えたり、学ぶ機会を持つことで、水への関心や大切にしようとする意識が高まっていくと思います。小さなことを積み重ねていくことで、この先もずっと水を大切にしていきたいです。